

## 南相馬市 視察を終えて

実施日： 2015年8月21日～22日

参加者（敬称略）：國貞(コダマ)、副島、中谷、澤田、清水、山下、菅谷（7名）

今回の視察は、國貞さんの全面的なご協力により、南相馬市職員、商工会議所(JC)を中心に現在復興に向けて全力で携わっている関係各方面の方々と面談をセットアップして頂き、普段聞くことの出来ない大変貴重なお話が聞くことができました。

### 【線量計の値と汚染土】



避難区域には、4、5年経過しても相当な放射能が残留しているため、子供の健康に不安を感じる親達は不安を感じており、復帰される方は相当数減少することが想定されているようである。(アンケート結果)

家屋の除染作業は、かなり終了しており、来年4月の帰還に向けたロードマップを策定し、さまざま取り組みを国や市が中心となり推進しているが、田畑の除染は60%程度であり、住民は大きな不安を抱えている。そのため完全復帰は、容易に進む状況ではないと感じた。



津波で壊れた家屋が未だに放置され震災前は広大な田園地帯は荒れ放題となっていた。また海岸には雄大な松林(防風林)があったが、現在は唯一この「奇跡の一本松」が津波にも負けずに生き残っており、地元の人々の復興シンボルとして、大きな勇気を与えている。海岸線では、防波堤工事が進んでおり、完成時には大きな壁が現れるようです。



## 【復興への取り組み】



放射能や津波被害者の方々が、今も多くの方が住んでいる仮設住宅と福幸商店街です。今後の南相馬市の復興を目指して、市役所、商工会議所、及びNPOなどが中心となり、南相馬市の復興を信じて、前向きに取り組んでおられることに、大きな感動を与えてくれました。



小高地区は夜間滞在禁止区域となっており、NHKで放送された食堂は、名前のとおりお昼のみ営業されており、復興のシンボリック的存在となっている。

今回の視察を見学レベルに終わらせずに、これから我々の活動に有効に生かすことと、今後どのような支援ができるか肌で感じさせて頂き、ありがとうございました。

## 【相馬野馬追】



※秋季競馬大会のイベント  
平成27年10月18日（日）9時から15時頃